

## ヨット整備勉強会 (2020年2月～)

### \* エンジン編

・ディーゼルエンジンのトラブルは主に

① 電源—②燃料—③冷却水—④オイル—⑤圧縮……それぞれの系統に区分して対処法を考えましょう！

①電源:寒冷時はバッテリーの能力は低下—YanmarGM エンジンはデコンプ機能があるので、1シリンダーずつ点火。  
—スロットルレバーはフル(旧車のチョークと同じ効果)で回ったら戻す。

YM エンジンはグローSW を10秒 ON にしてからスタート。

電源は十分なのにスターターが作動しない→ソレノイド SW が作動しない！？ハンマーで軽く叩いてみる！

②燃料:タンクからエンジンの噴射ポンプまでの経路を辿ってみる……

油水分離器—エンジン駆動ポンプ—燃料フィルター……エア抜きは完全か！？

油水分離器や燃料フィルターに汚染がある場合は燃料タンクの汚濁が疑われる！

噴射ポンプから噴射バルブまでの点検は十分な時間と工具が必要。

③冷却水:西宮の海面は浮遊物が多く冷却水が出ないトラブルが多発しています！

船底の取り入れ口…カキの付着、ビニールを吸入、クラゲの付着など

海水トレーナーの設置を推奨します…ゴミがインペラを通過してエンジンの各所に目詰まりを起こします。

主な目詰まりは…直接冷却ではサーモスタット入り口、関節冷却では熱交換器(通称レンコン)入り口です。

取り外してきれいに掃除しましょう、ホース内も塩詰まりを起こしている場合もあります。

又出口のミキシングエルボーは消耗部品ですので、壊れる前に交換をお勧めします。

④オイル:ディーゼルエンジンのオイル交換をマメに実施すれば故障も少なくなり、寿命も延びるでしょう！

5 or15w—40の比較的粘度の高いオイルがお薦めです。粘度の低い・劣化したオイルを使うとオーバースピードになってしまうことがあります！(オイルにも消費期限があります)

基本的にオイルは減らないが、ピストンリング摩耗やバルブシール劣化などの原因で燃焼室に入り、白煙を伴って燃焼されれば徐々に減って行くでしょう！

⑤圧縮:ディーゼルエンジンの点火は圧縮点火！圧力低下の原因は多々あります。

ピストンリング・バルブの当たり・ヘッドとシリンダーブロックの接触面の傷など……

オーバーホールが必要になることもあります。

\* \* \* クルージングヨットのエンジンは主機と云えるくらい重要なものです、日常のメンテを大切に！ \* \* \*